



平成 29 年 6 月 7 日 (水)
愛知県立大学学術情報部
研究支援・地域連携課
担当：森部、松原
電話 0561-76-8843

愛知県立大学グローバル学術交流

「普遍と個別/日常-グローバル時代の指針を求めて-」取材依頼について

「グローバル学術交流」は今年度より新たに開講する教養教育科目（全学部生対象）であり、教員の国際的な研究・交流を教育の場にフィードバックするものです。毎年一つのテーマに基づき本学が擁する 5 学部の教員がその専門性を生かした多角的な講義を実施するとともに、海外から招聘する研究者の講演や本学の大学院生、留学生を交えたプレゼンテーションやディスカッションなどグローバルな学術的交流の場を設けるアクティブラーニングを取り入れた授業です。

今年度は 5 学部・約 40 名の学生が受講し、「普遍と個別/日常-グローバル時代の指針を求めて-」と題して 5 学部教員による講義を実施しています。その目玉として、7 月 17 日には、スペイン・バルセロナ大学より研究者を招聘して講演会と教員との意見交換を実施します。

ぜひ本学の取り組みをご取材ください。

<p>取材対象回 (講義)</p>	<p>○6/12 (月) 14:30~16:00 (担当：中島茂学術研究情報センター長) 前期の講義全般を踏まえ、本学大学院生と留学生を交えてプレゼンテーション及びグループディスカッションを行う。</p> <p>○6/19 (月) 14:30~16:00 (担当：鮎京正訓愛知県公立大学法人理事長) 「日本の憲法・アジアの憲法①」</p> <p>○6/26 (月) 14:30~16:00 (担当：鮎京正訓愛知県公立大学法人理事長) 「日本の憲法・アジアの憲法②」</p> <p>○7/10 (月) 14:30~16:00 (担当：奥野良知外国語学部教授) 「アリゼンダ・パルジーア氏講演会の事前授業」 原理的に多文化の共生を否定的しがちな「国民国家」は、グローバル化の進展によってどう変化していくのか。スペインとカタルーニャの事例から考える。</p>
<p>取材対象回 (講演会)</p>	<p>○7/17 (月・祝) 14:30~16:00 (一般公開) ※本学特別開講日 「グローバル化と新国家の形成-カタルーニャの場合-」 (アリゼンダ・パルジーア氏：スペイン・バルセロナ大学経済学部教授)</p> <p>〃 16:10~16:40 本学教員とのディスカッション</p> <p>〃 17:00~17:40 受講生とのディスカッション</p>
<p>会 場</p>	<p>愛知県立大学長久手キャンパス (長久手市茨ヶ廻間 1522-3) 講義回 B107 講義室 講演会 講堂</p>
<p>備 考</p>	<p>「グローバル学術交流」については、別紙 1 (シラバス) をご参照ください。 また講演会については、本件と同日の記者発表資料 (愛知県政記者クラブ・名古屋教育・医療記者会) 及び別紙 2 (チラシ) をご参照ください。</p>

別紙 1

講義題目	普遍と個別／日常—グローバル時代の指針を求めて—	曜日・時限	月曜 4 限
担当教員	中島 茂	開講時期	2017 年度前期
到達目標	この授業は本学の 5 学部が一つとなって各学部の専門性を活かしつつ、グローバルな時代要請に応える授業である。総合的・複眼的そして価値追究的に現在と将来を見据える機会となるように、学際的な視点から学問の存在意義に触れつつ課題発見への思考を育み、前向きに実践的に歩み出す能力(個別性)を獲得することを目標とする。		
授業概要	<p>グローバル時代の到来によって、近代の国民国家という理念が大きく揺らぎ、人類の交流と融合は新たな歴史を踏み出している。その一方で民族紛争や宗教紛争、貧困の拡大、地球温暖化に伴う災害や核脅威など地球規模の危機から将来展望は楽観を許さない。しかし、「グローバル社会」のあり方は、誰かに決めてもらうのではなく、私たち自身が創造していかなければならない。</p> <p>普遍性と個別性の葛藤、たとえば、自由と平等の相克やその調整システムとしての民主主義といった理念は、日本国憲法前文にもいう「人類普遍の原理」としてその実現が目指されてきた一方で、日常生活には必ずしも貫徹されていない。私たちは、ここで一般と個別、普遍と日常の関わりを考えることで、改めて人類の将来指針を探究しなくてはならないのではないか。</p> <p>この授業は講義と演習の組み合わせである。グローバル学術交流の主旨に基づき統一テーマのもと、5 学部の専門領域の最前線からの講義と海外からの講師の講演、および、それらを踏まえた討論を実施するグローバルな学術交流を活用したアクティブラーニング型授業である。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 履修ガイダンス。3～7 回の講義に関する参考文献を提示。外部講師の著作リスト等を配布。 2. テーマ「普遍と個別・日常—グローバル時代の指針を求めて—」に関する概説 3. 「グローバル時代における個人」(担当：教育福祉学部望月先生) 4. 「安楽死・尊厳死・自然死 — 生と死を考える」(担当：看護学部荻先生) 5. ディスカッション (担当：教育福祉学部望月先生、看護学部荻先生) 6. 「日常言語の規則性」(担当：日本文化学部久保菌先生) 7. 「グローバル時代の情報科学技術の方向性—未来を決める 12 の法則性について」(担当：情報科学部奥田先生) 8. ディスカッション (担当：日本文化学部久保菌先生、情報科学部奥田先生) 9. 院生と留学生のプレゼンテーションとディスカッション 10. 「日本の憲法・アジアの憲法①」(担当：鮎京正訓愛知県公立大学法人理事長) 11. 「日本の憲法・アジアの憲法②」(担当：鮎京正訓愛知県公立大学法人理事長) 12. 「アリゼンダ・パルジーア氏の講演会の事前授業」(担当：外国語学部奥野先生) <p>原理的に多文化の共生を否定的しがちな「国民国家」は、グローバル化の進展によってどう変化していくのか。スペインとカタルーニャの事例から考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. アリゼンダ・パルジーア先生の講演会 (公開) 「グローバリゼーションと新国家の形成—カタルーニャの場合」 14. [講演会の続き] 本学教員とのディスカッション 14. アフターセッション：パルジーア先生と受講生による質疑応答 15. 総括討論 (グループごとの発表会を含む) 		



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

平成29年度 愛知県立大学グローバル学術交流事業講演会

グローバル化と 新国家の形成 “カタルーニャの場合”



スペインで最も経済規模が大きく独自の言語・文化・歴史を持つカタルーニャ自治州では、近年独立を求める動きが強まっている。本講演では、グローバル化の進展によりスペインの多様な諸地域を束ねてきた諸要因の求心力が低下したこと、カタルーニャが強い独自のアイデンティティを持つがゆえに同地を差別的に扱っていると思われるスペインの税の再配分システム、民主化以後のカタルーニャの自治権の根幹を否定する2010年の憲法裁判所の裁定、などがその要因として説明される。

愛知県立大学長久手キャンパスL棟(講堂)

2017年7月17日(月・祝)講演会14:30~16:00 本学教員とのディスカッション 16:10~16:40 (受付開始 13:30)

同時通訳有り | 募集人数:400名(先着順) | 参加費無料 | 申込必要 | 募集期間:2017年7月14日(金)15:00まで

※定員になり次第締切とさせていただきます。



バルセロナ大学経済学部教授(前経済学部長)

アリエンダ・パルジーア

1969年バルセロナ生まれ。バルセロナ大学やエール大学で経済学を学ぶ。2009年より2017年4月までバルセロナ大学経済学部長。専門とする国際貿易、地域経済、新経済地理、財政連邦主義などの立場からカタルーニャの独立を主張している。代表的著書に*Podem! les claus de la viabilitat econòmica de la Catalunya independent*(『我々にはできる!カタルーニャが独立した場合の経済的な生存可能性の鍵』)等、多数。

申込方法 ※未就学児同伴はご遠慮願います。

- ① 本学地域連携センターウェブサイト(<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>)にアクセス頂き、「グローバル学術交流事業講演会の特設ページ」より所定の申込メールフォームに情報をご入力ください。
- ② 往復ハガキまたはEメールに氏名(ふりがな)、電話番号、「グローバル講演会希望」をご記入の上、右記お申込み先へお送りください。

お問い合わせおよびお申込み先

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

愛知県立大学 研究支援・地域連携課

Tel:0561-76-8843(直通) | Eメール:renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

交通アクセス

- リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
 - リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
- ※ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でご来場ください。

